

多摩市都市農業振興プラン

農業者と市民が支える都市農業のあるまち 多摩



平成31年3月

多摩市

はじめに

多摩丘陵が多くを占める多摩市は、昭和 30 年代までは、多摩丘陵の谷戸から多摩川にかけて田畑の風景が広がっていました。昭和 40 年代になると、多摩ニュータウンの開発が始まり、農地と農家は急激に減っていきました。

現在、市内で農業を営んでいる方々の数や農地面積は、多摩地域の中で下位に位置する状況となっています。しかし、この都市化の進んだ本市において、これまで代々、農業を続けてこられた農家の方々は、ふるさと愛と農業への想いが他の地域に比べ一段と強い、選りすぐりの農家と言えると考えています。

都市農業の現状は、高齢化や後継者の問題、また、2022 年には、生産緑地の最初の指定から 30 年が経過し、買取申出が可能となる農地が大量に発生することが危惧されるなど、多くの課題を抱えており、本市も例外ではありません。これらの課題を解決すべく、国では都市農業振興基本法の制定を始め、生産緑地法の改正、都市農地貸借円滑化法の制定など、都市農地保全に向けた様々な法制度が打ち出されており、これらの制度を有効に活用する必要があります。

一方、本市では、共同直売所の運営や農産加工組合による味噌の製造販売、また、最近ではミニトマトを栽培するグループが健幸トマトと命名し、学校給食に提供するなど、団結し頑張っている農家の方々が心強くもあります。さらに、東京では珍しいアスパラガスの栽培にも取り組み始め、多摩市農業が、新たな一歩を歩み始めているようにも感じています。

これらの取り組みがさらに推進され、多摩市農業が発展するとともに、広く市民の皆さんの中に都市農業への理解が深まるよう、「多摩市都市農業振興プラン」を策定いたしました。本プランでは、基本方針の「多様な形態を活かした都市農業を目指して」「多摩市農業を支える担い手の育成を目指して」「多面的機能を活かした都市農地を目指して」「市民と共に支える多摩市農業を目指して」の四つの柱により取り組むよう構成しています。

今後、このプランに基づき、多摩市農業委員会や東京南農業協同組合を始め、関係者の方々との連携を一層強化し、持続可能な都市農業となるよう環境を整備し「農業者と市民が支える都市農業のあるまち 多摩」の実現を目指してまいります。

プラン策定にあたり、農家ヒアリングを始め、消費者意見箱、農家意向調査・市民意向調査などによりのご協力、ご意見をいただきました皆様、そして熱心にご議論していただきました策定委員会委員の皆様、心から感謝申し上げます。

平成 31 年 3 月

多摩市長 阿部 裕行

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 第1章 農業振興プラン策定の趣旨 | 1 |
| 1 農業振興計画の経過と背景 | 3 |
| 2 計画改定の目的とねらい | 3 |
| 3 計画期間 | 3 |
| 4 計画の位置付け | 4 |
| (1) 多摩市総合計画等との関係 | |
| (2) 農業経営基盤強化促進法に定める農業基本構想としての位置付け | |
| (3) 都市農業振興基本法に基づく「地方計画」としての位置付け | |
| 第2章 多摩市の農業 | 5 |
| 1 多摩市の状況 | 7 |
| (1) 位置・地形・自然環境 | |
| (2) 人口・世帯数 | |
| (3) 地目別土地面積 | |
| 2 多摩市農業の沿革 | 10 |
| (1) これまでの歩み | |
| (2) 多摩市農業の特徴 | |
| 3 多摩市農業・農地の現状 | 13 |
| (1) 農地の現状 | |
| (2) 農業産出額 | |
| (3) 農産物販売金額 | |
| (4) 農産物別作付面積・収穫量 | |
| (5) 経営耕地面積 | |
| 4 農業者の状況 | 20 |
| (1) 農家数・農業の担い手 | |
| (2) 環境保全型農業の取り組み | |
| (3) 農業者団体の状況 | |
| (4) 女性農業者の取り組み | |
| 5 現在の農業振興施策 | 26 |
| (1) 農業経営支援の取り組み | |
| (2) 共同直売所等の支援 | |
| (3) 担い手対策 | |
| (4) 学校給食への供給 | |
| (5) 特産品開発の推進 | |
| (6) 農業イベント、農業情報の発信 | |
| (7) 農業体験や交流機会の提供 | |

| | | |
|-----|---------------------------|----|
| 6 | 農業者・市民の意向把握 | 33 |
| | (1) 農家・市民意向調査 | |
| | (2) その他の農業者・市民意向把握 | |
| 7 | 隣接市との比較検討 | 40 |
| | | |
| 第3章 | 多摩市農業の課題 | 41 |
| 1 | データからの考察 | 43 |
| | (1) 農家者数の減少 | |
| | (2) 販売農家も減少 | |
| | (3) 農業者の高齢化の進捗 | |
| | (4) 農地面積の減少 | |
| | (5) 農産物販売金額 | |
| | (6) 栽培品目による収穫量の変化 | |
| 2 | 農家意向調査結果の考察 | 44 |
| | (1) 営農継続の意向について | |
| | (2) 販売について | |
| | (3) 農業経営について | |
| | (4) 市民との交流について | |
| 3 | 市民意向調査結果の考察 | 45 |
| | (1) 多摩市農業の認知度・農地保全について | |
| | (2) 農産物の購入方法等について | |
| | (3) 市内産農産物の購入意向 | |
| | (4) 農業体験等について | |
| 4 | 農家ヒアリング結果の考察 | 45 |
| 5 | 消費者意見箱結果の考察 | 46 |
| 6 | 障がい者団体アンケート結果の考察 | 46 |
| 7 | 多摩市都市農業振興市民フォーラムで挙げた意見の考察 | 46 |
| 8 | まとめ | 47 |
| | (1) 多様な農業経営の確立 | |
| | (2) 農業の担い手の育成 | |
| | (3) 多面的機能を活かした都市農地の保全と活用 | |
| | (4) 市民の参加による都市農業の展開 | |
| | | |
| 第4章 | 多摩市の農業の将来像と基本方針 | 49 |
| 1 | 多摩市農業の将来像 | 51 |
| 2 | 将来像実現に向けた基本方針 | 51 |
| | (1) 多様な形態を活かした多摩市農業を目指して | |
| | (2) 多摩市農業を支える担い手の育成を目指して | |
| | (3) 多面的機能を活かした都市農地を目指して | |
| | (4) 市民と共に支える多摩市農業を目指して | |

| | | |
|---|----------------------------------|-----|
| 3 | 施策の体系 | 53 |
| 4 | 基本計画（施策の内容） | 54 |
| | 基本方針 1 多様な形態を活かした多摩市農業を目指して | 55 |
| | 基本方針 2 多摩市農業を支える担い手の育成を目指して | 62 |
| | 基本方針 3 多面的機能を活かした都市農地を目指して | 64 |
| | 基本方針 4 市民と共に支える多摩市農業を目指して | 69 |
| 5 | 重点施策の一覧 | 74 |
| | | |
| | 第5章 都市農業振興プランを推進するための体制・組織づくり | 77 |
| | | |
| | 第6章 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 | 81 |
| | 1 農業経営基盤の強化の促進に関する目標 | 83 |
| | 2 農業経営モデル | 86 |
| | 3 農業経営基盤強化促進事業に関する事項 | 87 |
| | 4 農地利用集積円滑化事業に関する事項 | 87 |
| | | |
| | 資料編 | 89 |
| | 1 調査資料 | 91 |
| | （1）農家・市民意向調査調 | 91 |
| | （2）農家ヒアリング | 106 |
| | （3）消費者意見箱 | 108 |
| | （4）障がい者団体アンケート | 109 |
| | 2 多摩市都市農業振興プランのパブリックコメント実施状況について | 110 |
| | 3 計画策定体制資料 | 121 |
| | （1）多摩市都市農業振興プラン策定委員会委員名簿 | 121 |
| | （2）多摩市都市農業振興プラン策定委員会 | 122 |
| | （3）多摩市都市農業振興プラン策定委員会設置要綱 | 123 |